

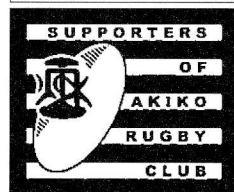


2022年 夏強化練習 於 秋工ラグビー場

# 秋工ラガ一

発行者

秋田工業高校ラグビー後援会  
事務局 (018) 862-1256



「才能は努力により開花する」

秋田工業高等学校ラグビー後援会

会長 瀬田川 榮一

本校ラグビー部で活躍した土田雅人さんが日本ラグビー協会の会長に就任したことを皆さんとともに喜びたいと思います。大変だとは思いますが、頑張ってください。

とりわけあなたの会長就任は生徒たちにとりましても大きな励みになることと思います。是非近いうちに、生徒たちあなたの生き方等を話していただければ幸いです。

九月の十六日、青森山田高校サッカー部監督の黒田剛さんのてい談を聞く機会に恵まれたので、記憶に残っている事柄を紹介しようと思います。

青森山田高校サッカー部は平成十二年には全国大会で第三位になり、以降全国大会では常勝チームのし上がり、昨年度は全国高校総体総合選手権、JFAプレミアリーグ、全国高校選手権の三冠に輝いている。黒田監督が所属する青森山田は中・高一貫校で中学校の副校長であり高校サッカーの監督でもある。三年度のキャプテンであった松木選手（現FC東京）を中心に話された。松木選手は特別身体能力が高いわけではないが、自分が成長するためには何でもする。自分の求める姿をつくるためには決して妥協しないで練習する

選手だと。さらに、人の話をよく聞くと黒田監督は言う。

対話方式で「才能」と努力について話が移った時、監督は「努力なくして才能は開花されない」と言う。また、大きな武器を複数持つことが大事ともいう。

指導者として年代の差をどう埋めるかとの問いに「無理して埋める必要はない。年代が違っても感情、感動といった精神的なものの変わらない。だから自分は年代の差をあまり意識しないで生徒たちと話し合う。」その他、記憶に残ったことはいくつもあったが、過度に選手を褒めることはあまり良いことではなく、これは生徒から信頼を失うことにつながりかねないと言う。また、リーダーとして大事なことは、伝えようとするのが相手にしつかり理解されることで、それが全員に伝わる時にチームの団結につながると言う。

最後、司会者から黒田監督執筆の本が紹介され、今年優勝した仙台育英学園高校野球部監督も黒田さんの本を随分参考にしたと言う。一読してみたかと思っ